

浄土真宗本願寺派 国際伝道 その13

本願寺 ヨーロッパ開教地 (前編)

ヨーロッパにおける浄土真宗の伝道は1954年、ドイツ・ベルリンのハリー・ピーパー師が、勝如上人ご執行の帰敬式を受式したところから始まる。

以来、ヨーロッパの各地で様々な形で浄土真宗のみ教えに出遇われた方がおられ、次第に念仏者のグループが形成されていった。

現在ではドイツ、スイス、イギリス、ベルギー、ポーランド、ルーマニアの6カ国で伝道活動が展開されている。



ドイツ浄土真宗協会のお内仏



ドイツ浄土真宗協会の研修会

ヨーロッパにおける浄土真宗の歴史は、他の地域と大きく異なっており、日本からの移民に伴った伝播ではなく、ヨーロッパの各地においてそれぞれに異なった形で、浄土真宗のみ教えに出遇われた方々の手によって伝道活動が進められてきた。

その始まりは、1950年代前半、ドイツ・ベルリン在住のハリー・ピーパー師が、『歎異抄』に出会い、その内容に魅了されたところにある。

1954(昭和29)年11月、勝如上人がヨーロッパ歴訪の際に帰敬式を行い、ピーパー師が受式。ヨーロッパにおける浄土真宗信徒の第1号となった。

今後の法要スケジュール

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)

十月 十六日(金) 午後一時半

* 毎月十六日に本堂において勤めております。

法要開催検討中

「護持会報恩講」 (善教寺本堂)

十月二十四日(土) 朝席: 午前十時

昼席: 午後一時半

講師 広幡康祐師 (呉市安浦町信楽寺)

法要開催検討中

「報恩講」 (善教寺本堂)

十二月 二日(水) 朝席: 午前十時

昼席: 午後一時半

講師 朝枝暁範師 (北広島町中原本立寺)

* お接待当番 武士地区



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp